

## “かたらんね”だより



第25号 H26. 1. 29 発行  
(熊本県精神保健福祉センター)

新しい年を迎え、みなさまいかがお過ごしでしょうか。  
今回は、12月の球磨地域つどい、1月の講演会や“かたらんね”のご報告などがあります。  
どうぞ最後までお付き合いください。

### 球磨地域ご遺族のつどいを開催しました

昨年6月にスタートし、第3回目となる12月のつどいには、2名の方にご参加いただきました。

お二人ともつどいには初めてのご参加でしたが、重なる体験や心情があり、自然にお話をしていただいたように思います。亡くしてからの時間の違いも、それぞれにとって気づきや安心につながられたように感じました。メッセージをいただきましたので、ご紹介いたします。

 身内が亡くなり、精神的にも身体的にもボロボロになっていました。誰を頼っていいのか、誰に甘えていいのか分からず日々泣いていましたが、同じ体験をされて似た思いをされている人が居ることで“私だけじゃないんだ！”って安心できました。まだこれから先もたくさんたくさん泣く事もあるけど、心が回復するのをゆっくり待ちたいと思います。

 今回は自分以外の方も参加されて、とても勉強になりました。かつては自分もこうだったと思い返したりしました。これからは、同じような思いの方に何かできないかとも思いました。

次回は、3月14日（金曜日）に開催いたします。ご参加お待ちしております。

【個別相談】10時～12時（できれば事前予約をお願いいたします）

【つどい】13時30分～15時30分（直接会場へお越しください）

【会場】人吉保健所（人吉市寺町12-1）

【お問合せ】0966-22-3107（人吉保健所）

096-386-1166（当センター）



## 天草で初の自死遺族支援講演会が開催されました



1月25日（土曜日）に、天草保健所の主催で、天草市本渡の天草地域振興局にて、自死遺族支援講演会が開催されました。今回は支援関係者向けということで、天草地域の教育、医療、福祉行政等関係者約30名が参加されました。講師はNPO法人自死遺族支援ネットワークReの山口和浩代表です。現在は地元の長崎県大村市に戻られ、天草まではフェリーでお越しになりました。「自死遺族への理解とかかわり方」という演題で、大切な人を亡くした方への支援—その人らしく生きていかれるよう支援していくことの大切さを改めて感じさせるようなお話でした。今後、天草で理解と支援の輪が広がり、根付いていくことを期待しています。



### 1月のかたらんね

1月の“かたらんね”には、久しぶりにご参加がありませんでした。  
また次回お待ちしております。



### 次回の“かたらんね”開催予定

**【開催日時】**

3月27日（木）14時～16時

**【場 所】**

熊本県精神保健福祉センター  
2階 セラピールーム  
(熊本市東区月出3丁目1-120)

※事前予約は不要です。当日会場へお越しください

※個別相談にも応じます（別日、要予約）

**【お問合せ先】096-386-1166**

### あとがき

担当の増永です。

私事ですが、1月末をもって、産休に入らせていただくことになりました。平成22年4月より、細々とではありますが、一担当者として、かたらんねをはじめご遺族の方々の支援に携わらせていただきましたことに、この場を借りて、こころより感謝申し上げます。

時節柄、どうぞ皆様体調にお気をつけてお過ごしください。またお会いできる日を心待ちにしています。

